

運輸安全マネジメントレビュー議事録

作成日令和5年3月23日作成者 大出 裕司

実施日時	令和5年3月20日	
参加メンバー	大出社長(安全統括管理者/統括運行管理者/整備管理者) 栗林部長(運行管理者) 奈良部(整備管理者) 大出 裕司(運行管理者) 遠藤(乗務員)	
配布資料	① 安全目標(令和4年度) ②投資計画・報告(令和3年度・令和4年度) ② 教育実施スケジュール(令和4年度) ④安全評価認定更新準備書類	
<マネジメントレビューへのインプット情報>		
《項目》	《内容》	
a)安全監査結果	<ul style="list-style-type: none"> ・乗務記録の休憩場所において記載漏れやミスが確認されました。(監査) ・対面用アルコールチェッカーの買い替えを検討した方が良い。(監査) ・点呼時、運転者の体調についてもっと話しやすい環境を作った方が良い。(監査) 	
b)顧客からのフィードバック	<ul style="list-style-type: none"> ・初めて利用されたお客様に対し誠心誠意対応したことでお褒めの言葉を頂きました。 	
c)法制度の改正による影響	<ul style="list-style-type: none"> ・改善基準告示の改正が迫っているので、議論の動向を見守りたい。 ・2024年からの働き方改革に対応できるように乗務割を考えたい。 	
d)社会情勢・業界の変化について	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナも落ち着いて今後海外の動きがますます活発になってくる。ドライバーも他国籍のお客様に対応できるように教育が必要である。 ・安全に対する投資は今まで通り行う。 	
e)前回までのマネジメントレビューの結果に対するフォローアップ	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年のマネジメントレビューでドライバーの増員を指示し、1名増員することができた。 	
f)安全計画の達成度	<ul style="list-style-type: none"> ・車両の入れ替えを予定し、1月早々に新車のオーダーを出した。 	
g)改善のための提案	<ul style="list-style-type: none"> ・月1回の勉強会においてマンネリ化してきているので、グループディスカッションを取り入れるなど工夫が必要である。 	
<マネジメントレビューからのアウトプット>		
a)運輸安全マネジメントの有効性の改善	<ul style="list-style-type: none"> ・今まで無事故・無違反が継続されており、安全計画が適切に立案されている結果である。また、監査システムも正常に機能しているので、PDCAサイクルはおおむね適切に運用されている。 	
b)サービスの改善	<ul style="list-style-type: none"> ・お客様に今後のサービスのあり方についてアンケートを実施してはどうか。 ・車内のアメニティーについて良いアイデアを社員から公募したい。 ・車内 Wi-fi の設置を本格的に検討する時が来たのではないか。 	
c)資源の必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・統一ユニフォームの購入を検討してほしい。 ・インバウンドにも対応できるようにポケット1台の購入を検討してほしい。 	
d)その他	<ul style="list-style-type: none"> ・新規開拓企業の獲得を目指す。 ・広告費を出して本格的に空港交通を宣伝する。特に県北地域。 	
<経営者による指示事項>	<p>無事故・無違反で1年を過ごせたことに感謝します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナも落ち着いて空港交通を利用して下さるお客様は増えることが予想されますので、今日議論に上がったことは予算の許す範囲、一つでも実現できるように、一人一人が努力して下さい。 ・内部監査において指摘があったことは、速やかに改善するようにして下さい。 <p>何回も言いますが、安全運行が我々にできる最高のサービスです。 来年度も引き続きよろしくお願いします。</p>	